入職１年目に思うこと

短期入所は多くの方に利用して頂いています。安心して通ってもらえるよう日々励んでいます。一緒にお話をしたり、遊んだりと関わりを持っていく中で、楽しそうに過ごしている姿を見て、私自身が元気をもらい、利用者様の笑顔をもっと増やしたいと感じています。まだまだ未熟ものですが、利用者様、保護者様に「関われてよかった。」と思っていただけるような支援者を目指して今後も頑張ります。

さわおと
短期入所・居宅
増田祐希（ますだゆうき）

あかいしの森で、学童を担当させていただいています。学童での仕事は初めてで、児童の皆さんとどう関わっていけば良いか悩むこともありますが、先輩方の接し方などを観察し、勉強しています。皆さんの遊びの引き出しに感心すると共に、いかに限られた時間を楽しく過ごすことが出来るか考えています。一生懸命関わり、必要とされる存在になれるよう頑張りたいです！

あかいしの森
放デイぴーす
松澤昂史（まつざわたかふみ）

ひまわり園に配属になり、先輩職員に助けられ支えて頂き楽しく働くことができました。未就学クラスと学童クラスの両方の活動に入ることで、子どもたちからたくさんの事を学び、笑い合いながら元気をいっぱいもらい、とても充実した一年でした。まだまだ分からないことだらけですが、観て聞いて覚えながら初心を忘れずに楽しく笑顔で仕事をしていきたいと思います。

ひまわり園
キッズ・クラブ
山田りりか（やまだ）

毎日子ども達、保護者の皆様と楽しく活動することができています。元気なパワーをたくさんもらうと、明るい気持ちで仕事ができています。子ども達は毎日経験を積み重ねると、できることが増えていったり苦手なことにも挑戦しようとしていて、「子ども達の持つ力」を信じることが大切だと感じています。まだまだ至らない点ばかりですが、様々なことを学びながら、これからも頑張っていきます！

利府こども
未就学どんぐり
折居夢香（おりいゆめか）

今年度は、利府こども発達センターにて

公益財団法人
中央競馬馬主社会福祉財団さま に助成していただき、送迎車両を購入しました。

中央競馬馬主社会福祉財団とは
馬主の方々の、自分たちの手で、かつ目に見える形で社会福祉に貢献したいという思いから設立された財団です。
令和５年度施設整備等助成事業にて助成していただきました。安全運転に努めて、日々の業務に励みたいと思います。

賛助会費・寄付金納入の御礼

令和５年度も当法人の運営に際し、多大なるご支援、そして温かい支援金をいただきましてありがとうございます。
納入いただきました賛助会費・ご寄付は今後より一層充実したサービスを提供させていただくための施設整備や備品購入等に充当させていただきます。

編集後記

広報第３４号をお読みいただきありがとうございます。今回は、各事業の活動風景の紹介と“さわおと地域食堂”等についてまとめて、記載しております。
今後も、利用者様にとって過ごしやすい環境を目指し、よりよい支援を行っていけるように全職員で努めて参ります。
皆様の変わらぬご支援ご協力をお願いいたします。

令和６年１月　第３４号　認定NPO法人さわおとの森　発行責任者：代表理事　齋藤純子

広報　さわおとのもり

令和6年の新年を迎えて

専務理事　髙橋　繁夫

謹んで新春のお喜びを申し上げます。
昨年は、新型コロナウイルスも５類になり通常の社会に戻りつつあって、嬉しい限りであります。
さて、当法人で最初の事業所である「多機能サポートランドさわおとの森」は、開設が平成１８年４月であり、今年で１８年目を迎えました。その間職員も８名から９０名を超え、事業所と事業内容も格段に増え、それに伴い利用される方も多数に上っております。
当法人は、１８年間という長い年月事業をまい進してきましたが、利用される方がいるからこそ当法人が成り立っているという事を職員一同再自覚し、利用児・者視点での事業を行っていくことを肝に念じて事業展開していきますので、本年も変わらぬご厚情の程よろしくお願い申し上げます。

さわおと地域食堂

～さわおと地域食堂とは？～
フードバンクや協力団体から提供された食材を生かして作った食事の提供と地域の皆様の交流、情報の発信/受信の場となるように企画したイベントです。

令和５年度、沢乙地区、館地区、町加瀬地区、その他近隣エリアの方々を対象とし３か月ごとに「こども食堂」の一環として無料の食事提供を行いました。また、「多機能サポートランドさわおとの森」を地域に知っていただくことからはじめ、近日では学生を対象にした利府町社会福祉協議会によるボランティア教室も行いました。また、フードバンクからの食材提供、訪問理髪、ボランティアによるゲームコーナー、福祉生産物の販売、地域の店舗による野菜販売やキッチンカーによる販売など、関係者の皆様のご協力のもと子供たちや近隣住民の方との貴重な交流の場とすることができました。

今年度ご協力いただいた関係者の皆様(敬称略)
ふうどばんく東北 AGAIN　訪問理髪：HAPPY COLORS　ボランティア：木村様　アグリサンタハウス　宮城中央ヤクルト　容器寄付：株式会社高速　福祉生産物の販売等：わはわ大衡　松の実　愛の郷　オレンジ工房　バルーンアート：カラービーンズ　ピエロ：高橋様　ボランティア教室講師：利府町社会福祉協議会　キッチンカー：Bear's Cafe（ベアーズカフェ）　NOCTILUCENT（ノクティルーセント）　じぞうあん　その他町内会、協力団体の皆様。
ご参加者様をはじめ、関わっていただいた方々へ心からお礼申しあげます。

多機能サポートランド　さわおとの森

○わのみ（生活介護）

外での散歩や室内でのストレッチやプットインなどの個別活動や、ペットボトルと空き缶のリサイクル活動を行っております。また、短期入所の寝具の準備も行っています。各活動を通して体を動かす機会や、指先を使った細かい作業を行う事によって体力や技能の維持、向上を図りながら日々の活動に取り組んでおります。今後も楽しく活動が行えるよう考えていきたいと思います。

○くるみ（放課後等デイサービス）

地域の学校の支援クラスや支援学校に通われている小学生から高校生のお子さんがご利用されております。一年を通して様々な企画をしており、季節に合わせた活動はもちろんのこと、制作やクッキング、ヨガやストレッチといった運動も取り入れております。夏には「くるみキャンプ」と題し短期入所と連携して宿泊での行事も行っております。また、広い園庭もあり天気の良い日はいつも元気に子どもたちが追いかけっこや遊具遊びをして、のびのびと過ごされております。

○ショートステイ（短期入所）

さわおとの森ショートステイは食事、入浴、就寝、余暇支援等の生活場面を職員と一緒に過ごしながら、自立に向けた訓練を行っています。定員 12 名まで受け入れをし、毎日、賑やかな雰囲気です。ショートステイの今年度のイベントは変わり湯（ゆず湯やハッカ湯など）、花火大会を開催しました。また季節や行事に合わせ、夕食が特別メニューになるなど季節感を味わえるようにしております。新年度も利用者様の楽しい思い出が作れるようなイベントを計画しつつ、安心してショートステイをご利用いただけますよう支援を行って参ります

○えいむ（居宅介護・行動援護）

えいむでは、ご利用される方の目的や目標に応じた支援を行わせていただいております。また、ヘルパーとして携わる職員は情報共有を行いながら、安心してサービスを利用していただけますように取り組んでいます。日時や回数などご希望に添えない場合もございますが、努力して今後も充実したサービスを提供できるようにしてま参ります。

こども発達センター　あかいしの森

児童発達支援『むーとん』

コロナが少し落ち着き、活動に制限が少なくなってきました。今年度もはな・そら組そしてみち組のクラス編成で楽しい活動を行っています。

むーとんでは課題遊びやねんどなどの感覚遊び、運動遊びを保護者も一緒に楽しく活動しています。毎日の給食も楽しみの一つになっており、家では食べられないものが食べられたなど色々な声が聞かれています。季節行事では毎年クリスマス会は大盛り上がり。　職員も毎年気合が入る行事の一つになっています。

赤ちゃんボランティア

＜赤ちゃんボランティアとして活動していただいている小松さんからお話を聞かせていただきました＞

通所するお子様の兄弟児を別室で預かり、遊んだり排泄や昼食の介助をしています。私自身も障害のある息子がおり、娘がボランティアさんに大変お世話になりました。息子の療育に専念することが出来たのは、娘を見てくれたボランティアさんのおかげです。きょうだい児さんからも保護者の方からも、安心していただけるような雰囲気作りを大切にしています。

あかいしの森では、通園児と共に通ってくるごきょうだい(乳幼児)のお世話をしてくださるボランティアさんを募集しています。健康で意欲のある方であれば特別な資格は必要ありません。感心を寄せていただける方はお気軽にお問い合わせください。

チャリティーバザー

地域の企業様より衣類を提供していただきました。そのご厚意を有効に活用させていただく為に、チャリティーバザーを行いました。売上金でこどもたちの為に玩具を購入しました。こどもたちの楽しい笑顔や活動の幅が広がりました。

放課後等デイサービス『ぴーす』

ぴーすでは感覚刺激を入れる運動遊びや公園で拾った素材を使った制作、染め物など新しいことも取り入れて活動しています。コロナが落ち着き、外出も楽しめるようになりました。今年は遊覧船に乗ったり、水族館に行ったりといつも以上のこどもたちの笑顔が見ることができました。

居宅訪問型児童発達支援『にじ』

重度の障害の状態、その他これに準ずる状態にあり、外出することが著しく困難と認められた場合、専門職が自宅に訪問し、個別支援計画に基づいた療育を行います。

保育所等訪問支援『ほーぷ』

個別支援計画を作成し、保育所や幼稚園、学校等に専門の職員が訪問いたします。お子さんの様子をうかがい、専門的なアドバイスや情報共有をすることで、先生方とお子さん像を共有認識し、より安心して通園・通学ができる環境づくりのお手伝いをいたします。

こども相談支援『つくしんぼ黒川』

支援が必要と認められる方々(主に児童)の自立した生活を支え、ご本人等の抱える課題の解決や適切なサービスの利用に向けて「障害児支援利用計画」等を作成し、様々なサービスにつなげるための相談支援事業を行っています。

ひまわり園活動紹介

ひまわり園です！　ここでは最近行ったイベント活動を取り上げていきますのでぜひご覧ください！

＜ひまわりキッズ＞

12 月のイベントは、クリスマス会でした。16 組の参加となり、大盛り上がりでした！
（活動の様子）
感触遊びが苦手だった子どもたちが触って遊べるようになり、日々子どもたちの成長を感じています！

＜ひまわりクラブ＞

～クリスマス会～
今年はサンタやトナカイの福笑いをしたり、サーキット運動の中でサンタさんのコスプレをしました
福笑いでは顔が真ん中によっていたり、離れていたりと個性的になっていました！
サーキット運動ではぐるぐるバットをしてスタート！目が回りながらも上手に一本橋を渡れました（‘ω’）ノ

～カラオケ～
はじめてカラオケ店での活動を行いました＾＾
最初はドキドキしている子どもたちでしたが、歌っているうちにノリノリに！
園に帰って来てからもカラオケマイクで歌うほど楽しんでくれました(>_<)

地域拠点センター

あとれの事務所が広くなる予定です

ただいま、改修工事をしています。
１月中旬頃、完了予定です。

療育支援事業　あとれ

みなさんこんにちは！
「あとれ」では日々、発達の気になるお子さん，ご家族，支援者等の療育に関するご相談に応じ、関係機関との連携を図りながら地域の皆さんとの関わりを大切にしています。
当事者の方及び、保護者の方との面談や、関係機関への訪問など広範囲にわたり支援者として求められる役割を感じています。支援者として専門的知識を活かせるよう日々、来談者を通して学ばせていただき、心理士・作業療法士・理学療法士・言語聴覚士・保育士が一つのチームとなり、寄り添う支援をしていきたいと思っています。

当事者さま・ご家族さま・先生方や関係機関のみなさまと共に…
よろしくお願い致します。

利府こども発達センター

児童発達支援　どんぐり

いつも元気いっぱいなどんぐりです！

11 月は毎年恒例の「リンゴ狩り」に行ってきました。たくさん実っているりんごから、「どれにしようかな？」と思い思いに選びました。
とっても甘くて美味しかったですね！

12 月にはクリスマス会を行いました！
ゲームや出し物をして楽しい時間を過ごすことが出来ました。
たくさんのプレゼントをもらい、みんな大喜びでした！

放課後等デイサービス　あのね

あのねでは、園内活動の他にも梨狩りや町民体育館での運動会など園外活動や季節の行事などを通して子どもたちの「楽しい！」を大切に支援を行っています。
新しいことにもどんどん挑戦していきたいと思います！

共同生活援助　ぼくらの家

男性利用者６名のグループホームです。
皆さん、それぞれに日中事業所に通いながら、ぼくらの家で生活されています。

みんなで過ごしたり

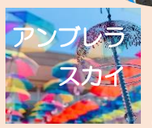
居室でゆっくり過ごしたり

思い思いに過ごされています☺

短期入所　みんなの家

１日の定員５名の小規模なショートステイです。
お家のような雰囲気の建物で、お泊りをしていただいております☺

休日には活動で、



などなど‥
お出かけもしています♪